



# 花澤家族農園新聞

式千八年立冬之巻



冬の気立ち初めていよいよ冷ゆれば也

この日から立春の前日までが冬。日は短くなり時雨が降る季節。北国や高山からは初雪の知らせも届き、関東では空っ風が吹く頃(暦便覧より)。

瀬戸内ではようやく厳しく暑い夏が終わり、秋が深まって朝晩が大分冷え込むようになってきました。まだまだ山の樹々は紅葉していませんが、もう一月もしないうちに少しずつ山肌を染めていくものと思います。そして日もどんどん短くなってきて、日の出から日の入りまでの作業時間が短くなってきました。季節とともに移ろいゆく自然相手の農作業は、農耕民族である日本人のDNAにしっかり根付いていることを感じる今日この頃です。

農家にとってまず挨拶の次に話題となるのが天気の話です。今夏は梅雨明けが早く、その後約2ヶ月にわたりほとんど雨が降らなかったため、「何時になったら雨が降るのだろうか？」という話題につきました。当農園の柑橘園でも今夏は灌水作業に追われました(-\_-;)

そして今年新たに話題に加わったのが「価格高騰」です。ガソリンの価格はもちろんのこと、肥料・農薬・ビニールなどほぼ全ての農業資材が倍近く値上がりしました。農業においても「石油」とは切っても切れない縁にあります。化学肥料・農薬の精製には石油は不可欠ですし、その他の農業資材も石油をベースに作られたものがほとんどです。また、化学肥料の原料の多くは海外から輸入されており、世界各国との争奪戦となっています。

有機農業の世界では比較的その影響が小さいといわれています。当農園でも肥料は自家鶏糞と米ぬか・食品残渣をベースにしたぼかし肥料(近くの社会福祉施設から取り寄せています)を中心に使用しています。また化学農薬を使用していないため、これらの影響は小さくて済みます。化学肥料・化学農薬を可能な限り使用しないことは、地域の自然環境にやさしいだけでなく、地球環境にもやさしい地域循環型農業を可能とします。今後もこのかたちの農業を

しっかり続けていき、少しでも地域に広めていければと思っております(\*^\_^\*)

「げんきに育っています」

島かんきつ

島みかんも気温が下がってきて少しずつ色付いてきました。今年は夏の降水量が極端に少なかったため、樹に強いストレスが掛かり、甘いミカンに仕上がってきていましたが、秋口から雨が多くなり、遂には現時点で昨年の降水量を上回る雨量となって、少々心配です(-\_-;)。それでも土作り・樹作りにこだわり、またこの穏やかな瀬戸内の気候と風土が美味しい島みかんを毎年育ててくれることと思います(\*^\_^\*)。

他の島かんきつも順調に果実が大きくなってきました。収穫シーズンの到来でこれからより忙しくなりますが、自然と大地の恵みをいただく喜びを享受しつつ、農作業に勤しんでいきたいと思っております(\*^\_^\*)。

野草たまご

暑~い、暑~い夏を無事に乗り切って、彼女らにとっても食欲の秋となり、より元気に動き回ってたくさん卵を産んでくれています。これから冬に入り寒くなってきますが、きっと元気に乗り切ってくれることと思います。我が家の鶏小屋は、大規模鶏舎と違い温度調整(\*1)などが出来ませんが、自然の四季を直接肌(羽毛??)で感じながら、丈夫に育ててくれています。

島やさい

3種類のかぼちゃのうち、2種類(普通かぼちゃ、えびすかぼちゃ)を無事に収穫しました!夏場の早魃で初期生育が遅れて心配していましたが、その後の雨ですっかり元気を取り戻し、当初の予定よりたくさん!収穫できました。お隣の島の国民宿舎のお食事に使って頂いています。

9月中下旬に玉ねぎの種まきをし、苗を立てました。その苗のうち、極早生(極早く収穫可能な品種の意)について10月中旬に植え付けを行いました。その後順調におおきくなっています(\*^\_^\*)。

また、にんにくの植え付けを10月初旬に行いまし

た。日本在来種の平戸にんにくと普通にんにくの2品種を植え付きました。芽の出が今ひとつでしたが、少しずつ大きくなっています。

そして今月に入って、ソラマメの苗を立てています。順調に発芽しましたので、近々畑に植え付ける予定にしています(\*^\_^\*)。

### これからの予定

「島かんきつ」は、これから収穫シーズンを迎えます。今月下旬より島みかんの収穫が始まります。12月中下旬まで色付きや熟し具合を見ながら採果していきます。その後、12月末から年明け後にかけて島いよかん、その後引き続いてはっさく、そしてネーブル（オレンジ）、デコポン、樹熟はっさく（越冬木成りはっさく）と続いていきます。

「野草たまご」は、これから鶏小屋の掃除を行い、来春に来る新しい鶏たちの小屋を準備する作業を行います。その鶏糞は、主に野菜やレモンの肥料となり、当農園の中で循環されていきます。

「島やさい」は今月下旬に、さつまいもの収穫を行う予定にしています。植え付け後の早魃で、初期生育が遅れましたが、その後の雨ですっかり元気を取り戻しました。芋の甘みを引き出すために、可能な限り遅く収穫する予定にしていますが、大分寒が強くなってきましたので、島みかんの収穫前に終わらせたいと思っております(\*^\_^\*)。それに引き続いて、秋ジャガイモの収穫を予定しています。

### お知らせ

12月初中旬より「島みかん」の出荷を開始する予定にしております。今号において予約注文を承りますので、何卒ご愛顧の程をよろしく申し上げます。今シーズンの「島みかん」は裏年となり量が少なめとなりますので、場合によってはご希望に添えない場合もあるかと存じますが、その折は何卒ご容赦いただきますよう宜しくお願い申し上げます。また、年明け早々に、「島いよかん」「はっさく」「ネーブルオレンジ」「デコポン」の予約注文を改めて承りますので、併せてご愛顧のほどよろしく申し上げます。また、引き続き「島れもん」「野草たまご」の販売を行っておりますので是非ともご利用下さい。島かんきつとのセットでのご用命もお待ちしております。また、昨シーズンに引き続き今シーズンも「島甘藷」の販売を行います。数種類のさつまいもを詰め合わ

せてお送りいたしますので、是非是非ご利用ください！こちらも島かんきつ、野草たまごとの組み合わせOKです。皆様方のたくさんのご注文を心よりお待ちしております(\*^\_^\*)

### この一枚！ふおと



「島みかん」が色付いてきました！

### きいーわーど

\*1「鶏舎の違い」 当農園の鶏小屋は、ケージ飼いの大規模養鶏舎と異なり、木造で平飼いの鶏舎です。鶏たちは鶏舎の地面を動き回り、足で引っ掻き回しながら餌探しに夢中です。土の上に木のチップと籾殻を混ぜたものを敷き詰め、その上で動き回るため、鶏糞が自然に発酵して雑菌が抑えられ、そして良質な鶏糞が出来上がります。そして冬場でもその発酵熱で鶏舎の中がある程度暖められます。効率面だけを考えるときっと非効率なのですが、その他のプラス面はたくさん！あります。これからも鶏たちとともに循環型農業を行っていきます(\*^\_^\*)。

### 農園いんとろだくしょん

「盛平石園」当農園の第一号園地は、40年ほど前にパイロット事業で開拓された傾斜地の山肌を削り取り、平地にした場所にあります。急な坂道を登りつめたところに園地の入口があり、周りは全て雑木林に囲まれ、完全に独立しており、有機栽培に非常に適した場所です（→次号に続く）。

### いちおしれしぴ

今号はお休みとさせていただきます(-\_-;)。

## 花澤家族農園

〒794-1401 愛媛県今治市上浦町盛 3115-1



Tel: 0897-87-3669 Fax: 0897-87-3669

Email : fam\_hanazawa@ybb.ne.jp